

2023 年 7 月 18 日

2023 年度第 2 四半期決算

バンク・オブ・アメリカは、2023 年度第 2 四半期決算を発表しました。

第 2 四半期業績【参考訳文（要旨）】

- 当期純利益は、2022 年度第 2 四半期における 62 億ドル(希薄化後 1 株当たり 0.73 ドル)に対し、19%増加して 74 億ドル(希薄化後 1 株当たり 0.88 ドル)となりました。
- 収益(支払利息控除後)は、11%増加して 252 億ドルとなりました。
 - 純受取利息は、主に金利の上昇及び貸出金の増加による恩恵を受けて、17 億ドル(14%)増加して 142 億ドル(FTE ベースで 143 億ドル)となりました。
 - 非金利収益は、販売及びトレーディング収益の増加がサービス手数料並びに投資及び仲介手数料の減少を上回ったため、795 百万ドル(8%)増加して 110 億ドルとなりました。
- 貸倒引当金繰入額は、602 百万ドル増加して 11 億ドルとなりました。
 - 2022 年度第 2 四半期においては 48 百万ドルの引当金の取崩し(純額)であったのに対し、256 百万ドルの引当金の積増し(純額)となりました。
 - 貸倒償却(純額)は前年度より増加して 869 百万ドルとなりましたが、依然としてパンデミック前の水準を下回りました。
- 非金利費用は、人材及び技術のフランチャイズへの投資並びに FDIC に係る費用の増加により、765 百万ドル(5%)増加して 160 億ドルとなりました。営業レバレッジは 6%、営業効率は 64%となりました。
- 平均貸出金及びリース金融残高は、商業貸出金の堅調な増加及びクレジット・カード残高の増加により、320 億ドル(3%)増加して 1.0 兆ドルとなりました。
- 平均預金残高は、2023 年度第 1 四半期より 180 億ドル(1%)減少(2022 年度第 2 四半期からは 1,370 億ドル(7%)減少)して、1.9 兆ドルとなりました。

- 平均グローバル流動性は、8,670 億ドルとなりました。
- 普通株式等ティア 1(CET1)比率は、2023 年度第 1 四半期から 23 ベーシス・ポイント上昇し、11.6%(標準的アプローチ)となりました。普通株式配当及び株式の買戻しにより、株主に対して 23 億ドルを還元しました。
- 普通株式 1 株当たり純資産は、7%増加して 32.05 ドルとなりました。普通株式 1 株当たり有形純資産は、10%増加して 23.23 ドルとなりました。
- 平均普通株主持分利益率は、11.2%となりました。平均有形普通株主持分利益率は、15.5%となりました。

プレスリリース原文および注記は[こちら](#)をご参照ください。

※特に注記のない限り、記載されている比較（%）は前年同期比、また貸出金および預金残高は平均して表示しています。